

月・考査等	単元名 (領域)	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】						
	普通・農業・商業・海洋	1学年	芸術	美術 I	2	高校生の美術1(日文)					
	科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねよう。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す。造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きについて考え、主題を生成し、発想構想を練り、美術や美術文化に対する見方を深める等創造活動に主体的に関わりながら、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高める。									
4	植物を描こう 身近なものを描く (鑑賞・絵画)	鑑賞 小林古径他 植物の特徴 水彩画技法 相互鑑賞	・植物が描かれた作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。 ・にじみやぼかし等水彩画の基本的な技法の演習をする。	・植物をよく観察し、植物の特徴を捉えて描くことができる。 ・水彩画の技法、にじみやぼかし、透明感を生かした着色ができる。	・相互鑑賞を行い、友達の作品のよいところや表現の工夫に気づき主体的に述べるができる。	生徒観察 作品 ワークシート 振り返り			◎	◎	○ ◎
5	自己を見つめる 創造を形に 視点と表し方 (絵画)	鑑賞 石田徹也 発想法 クロッキー 人物の特徴 描画材の性質と効果	・人体を速描し、人体のイメージを描く。 ・マインドマップに自分についてどんなイメージがあるか書き出し、主題を生成する。 ・自分の表現に合った背景や描画材を選び全体のイメージを捉えようとする。	・マインドマップから、自分の思いや自分について掘り下げて考える。 ・背景と自分の関係を考え、人体の特徴を生かして、自分の表現を生み出し、創造的な表現の構想を練っている。	・教科書作品から、作者像や表情から感情や思いを読み取り、自分の言葉で表現できる。 ・描画材や構図などの構想を練り、創造活動を主体的に取り組もうとしている。	生徒観察 ワークシート マインドマップ アイデアスケッチ 作品 振り返り 小テスト			○	◎	○ ◎
中間考査											
		絵画組成 透視図法 相互鑑賞	・クロッキーで人体の特徴を抑えデザインすることができる。 ・透視図法等遠近法を理解して構想を練る。	・自分の表現を深めるために表現形態の特性を生かし、様々な描画材を効果的に使用し、表現を広げたり、深めている。	・クラスで相互鑑賞を行い、友達の作品のよいところや表現の工夫に気づき、言葉で表現したり、振り返ろうとしている。	デザイン アイデアスケッチ 作品 振り返り			◎	◎	◎
6	ポスターで伝える/写真表現 (鑑賞・デザイン/映像表現)	鑑賞 福田繁雄/ソールライター 色・光の性質・平面の造形要素 著作権 デザインの役割	・著作権について知る。 ・色の性質について学び、色彩がもたらす効果などを理解する。 ・流通している視覚デザインの役割、効果、コンセプトの概念や効果を知る。	・見る人の心情や用途、求められる用途や機能を考え主題やコンセプトを設定する。 ・考えたことを基にアイデアスケッチをし、効果的な構図配色から視認性・可読性を考えて表現の構想を練る。	・デザイナーが伝達したい内容や美しさ等の意図や工夫を読み取り、取り入れるよう主体的に取り組んでいる。 ・出来上がった作品を公募展などに応募する。	小テスト ワークシート アイデアスケッチ 生徒観察			◎ ◎	◎	○ ◎
期末考査	7										
		制作/技法コラージュ、ロゴタイプ 制作/画像処理 相互鑑賞	・タブレット端末を使って、写真を撮る・加工・保存・ロゴを入れる等基本操作ができる。 ・コラージュの概念を知る。	・加工した写真をコンセプトに従って、効果的に配置することができる。	・クラスで相互鑑賞を行い、友達の作品のコンセプトや伝えたいことを言葉で表現したり、振り返ることができる。	作品 振り返り				◎	◎
8											
課題予											
9	海北友松～雲龍図～ 墨表現の可能性 日本美術 (鑑賞・表現)	鑑賞 海北友松・北斎・曾我蕭白 日本美術史/西洋美術史 水墨画制作	・墨の効果、造形的な作風などを基に全体のイメージや様式などで捉えることができる。	・水墨画の技法を簡単に触り、イメージを広げながら造形的な意図を探る。 ・東西文化における龍の位置づけや作者によって異なる表現の違いを読み取り深める。	・東西美術の特徴を自分で調べてその違いを指摘するなど主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品			◎	◎	○
10	立体表現の魅力 塑造で表す 抽象彫刻で表す (鑑賞・彫刻)	石粉粘土を用いた立体表現 鑑賞 彫刻史 立体的造形要素 アイデアスケッチ 抽象化 制作/塑造	・彫刻作品の特徴や制作背景、年代に触れ鑑賞する。 ・形というものを意識し、目に見えない感情や言葉をテーマに抽象造形に取り組み、様々な形のアイデアを出す。 ・形や質感、量感、重心やバランスなどを考えて、全体のイメージを捉えている。	・形や質感、量感、重心やバランスなどを考えて、創造的な構想を練っている。 ・塑造の特性を考えながら、立体表現において面や線・動勢など造形要素を効果的に表している。	・自然物や人工物、古典作品からイメージしたり、感情を表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 ・制作過程を自分で考え、意欲的に創造活動に取り組んでいる。	ワークシート 小テスト アイデアスケッチ ワークシート 作品 面接			◎	◎	○ ◎
中間考査											
		制作/成形 相互鑑賞	・意図に応じて材料や用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	・やすりがけ等触覚や質感を意識し、自分の表現を広げたり、完成度を上げている。	・造形的なよさや美しさを感じ取り抽象彫刻による表現の特性、作者の表現や工夫などについて、味方や感じ方を深められる。	振り返り					◎
11	デザインの世界/ 私の考えるデザイン パッケージデザイン (鑑賞/デザイン/ 映像メディア)	鑑賞/市場調査 発想法	・市販されている身近で気になるパッケージデザインを調査し、日常生活におけるデザイン的作用とパッケージの機能について理解する。	・自分が調べたパッケージが色や形、ロゴなどがどのように消費者に訴求しているか理解を深め、作品の構想を練っている。	・伝えたいことを感じ取り、美しさや良さの見方や感じ方を深める鑑賞活動をしている。	ワークシート 生徒観察 マインドマップ			○		○ ◎
期末考査	12										
		アイデアスケッチ ターゲットの設定 コンセプトの設定	・デザインすることで解決する問題を考え、コンセプトを設定する。	・コンセプトを基に色や形がもたらす効果を考えながら、アイデアスケッチを行いイメージを広げる。 ・ターゲットを絞り込み、色や形、材質を考え、より美しく、訴求力のあるパッケージになるよう展開図を作成し、試行錯誤する。	・主題を生み出し、使いやすさなど総合的に考え構想を練り、意図に応じて、創造的に工夫し、見直しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 面接 作品(展開図) 作品(組み立て)			○	◎	◎
1		試作 立体制作 情報デザイン 視認性・可読性・統一感	・アイデアから美しく機能的なパッケージをデザインし、アイデアスケッチ、展開図、本制作等見直しを持って表している。								
2		コンセプトボード(パッケージデザイン) 制作 画像処理	・コンセプトボードが作品の製作過程が分かるように作られていることを知る。 ・ppやphtsの基本的な操作ができる。	・作品を効果的に撮影し、イメージに合わせて、画像やフォントを選び、効果的に配置するなど、総合的な美しさの構想を練っている。	・コンセプトを生み出す過程や作品の映像など、可読性や視認性、統一感などを表現する創造的活動に主体的に取り組もうとしている。	作品(コンセプトボード)				◎	
学年末考査											
3		プレゼンテーション 相互鑑賞	・コンセプトボードを使い、説明する。	・説明や作品から機能や美しさを感じ取り、自分の言葉で表現することができる。	・プレゼンテーションから、作品のよいところや表現の意図や工夫を読み取り、見方や感じ方を深め、適切なコメントなどでフィードバックするよう主体的に取り組んでいる。	ワークシート 振り返り 発表					○ ◎